

よくあるご質問 (FAQ)

- Q 奨学金の支給は1年間のみなのですか。
A 本プログラムは、1年間のプログラムです。2年目以降は奨学金の支給はありませんが、別途様々なプログラム参加の機会やキャリアサポートを受ける制度へ応募することができるようになっています(2019年度時点。今後変更の可能性あり)
- Q 他の奨学金を受給予定ですが、併用に際しての条件や制約はありますか。
A 他の奨学金との併用について、当財団は条件や制約を設けていませんので、併用が可能です。
- Q 応募書類を送付する際は、学校でとりまとめる必要がありますか。
A 応募者本人が個別に送っても、学校でとりまとめてもいずれでも構いません。学校の教職員の方の手違いによる書類不備や締切後の送付が過去に発生していますのでご注意ください。
- Q 自分の進学先は大学・短大・専修学校に該当するのかわかりません。
A 学校教育法に基づいて設置された大学・短大・専修学校への進学者が本プログラムの対象となります。該当するかどうかは各学校にお問い合わせください。
- Q 保護者の署名は応募用紙に絶対に必要ですか。
A 応募時点で応募者が未成年である場合、親権者、家庭裁判所に指定された未成年後見人、児童養護施設などの施設の長、のいずれかの署名が必要です。
- Q 現在、高校に在籍していないのですが、応募できますか。
A 応募できます。既卒者の場合、学校長からの推薦状の代わりに、卒業高等学校からの卒業証明書を提出してください。高等学校卒業程度認定試験合格者は、学校長からの推薦状の代わりに、高等学校卒業程度認定試験合格証明書を提出してください。

一般財団法人 教育支援グローバル基金およびビヨンドトゥモローについて

一般財団法人教育支援グローバル基金は、共感力ある次世代のグローバル・シティズン(地球市民)の輩出をめざす「ビヨンドトゥモロー」の運営を行っている非営利の財団法人です。「逆境は優れたリーダーを創る」を理念に、次世代を担う資質を持ちながらも、社会経済的に困難な状況にある若者たちを対象とした奨学金支給及び人材育成プログラムの開催を通し、広い視点、深い共感力をもって社会のことを考えることのできる人材輩出をめざしています。

理事	橋本 大二郎 (理事長) 小林 正忠 佐藤 輝英 坪内 南 本庄 竜介 村瀬 悟	前高知県知事 楽天株式会社常務執行役員 ビーネクスト ファウンダー&マネージングパートナー 一般財団法人教育支援グローバル基金 事務局長 グリーンコア株式会社 代表取締役 メイヤー・ブラウン法律事務所 弁護士
評議員	木山 啓子 羽生 善治 宮城 治男 山崎 直子	特定非営利活動法人ジェン (JEN) 理事・事務局長 将棋棋士 NPO 法人 ETIC. 代表理事 宇宙飛行士
アドバイザー	阿川 尚之 竹中 平蔵	慶應義塾大学 名誉教授・同志社大学 教授 慶應義塾大学 名誉教授・東洋大学 教授
監事	江崎 滋恒	アンダーソン・毛利・友常法律事務所 弁護士

【問い合わせ先】 一般財団法人教育支援グローバル基金
電話：03-5453-8030 電子メール：info@beyond-tomorrow.org
〒150-0041 東京都渋谷区神南 1-5-7 APPLE OHMI ビル 4F ETIC. 内

ファックス：03-6745-9100
※応募書類の送付先は左記ではありません。

(返済不要・給付型奨学金のご案内)

ビヨンドトゥモロー ジャパン未来スカラースhip・プログラム 2020【応募要項】

一般財団法人教育支援グローバル基金は、社会のために活躍する人材になるべく進学を目指す若者を応援する「ジャパン未来スカラースhip・プログラム 2020」への応募を募ります。様々な事情で社会経済的に困難な状況にある若者を対象とし、財政的な支援だけでなく、人材育成プログラムへの参加機会の提供を通じて、他者に共感する力をはぐくみ、社会に力を添える人材を輩出することを目的としています。仲間との対話や、各界で活躍するリーダーたちとの交流を通じ、視野を大きく広げ、社会に力を添える人材の輩出を狙う本プログラムに、ぜひ奮ってご応募ください。

【主催】 一般財団法人教育支援グローバル基金

【プログラムの内容】

- 奨学金支給 大学・短大・各種専修学校での勉学のための、年間50万円の返済不要・給付型奨学金を提供します。
- 人材育成プログラム 国内外で開催されるプログラムを通し、各界で活躍するリーダーとの対話や、様々な困難を経験しながらも社会のために働くことを志す仲間との対話、社会課題について考える機会の提供を行います。

これまでの人材育成プログラムの例

- オリエンテーション・プログラム (毎年3月開催 3泊4日・東京)
- 夏季グローバル研修 (毎年7月～8月開催 約2週間・米国、タイ、シンガポールなど)
- ジャパン未来リーダーズサミット (毎年秋開催 2泊3日・東京)

※各種人材育成プログラムの詳細は当財団のウェブサイトでご覧いただけます。
※プログラム参加に係る費用は主催者が負担します(遠方からの参加者は交通費を財団規程に基づいて支給)。

ビヨンドトゥモロー ジャパン未来スカラースhip・プログラムは、奨学金支給と人材育成プログラムの両方から成る、1年間の包括的なプログラムです。

【応募資格】

- 下記条件を全て満たすこと。
- 2020年3月までに高校を卒業、または高等学校卒業程度認定試験に合格する予定であること。
 - 2020年4月～2021年3月に新たに大学・短大・各種専修学校に進学予定であること。
※学校教育法に基づいて設置された大学・短大・専修学校が対象となります
※進学先が通信教育課程の場合は対象外となります。
※5年制の高専在籍者は、2020年4月に4年生に進級する場合を対象とします。
 - 下記の一つ以上に該当すること。
 - 親が死亡。
 - 単親家庭である(母子家庭、父子家庭など)。
 - 児童養護施設などの児童福祉施設・社会的養護の施設に暮らしている。
 - 里親家庭に暮らしている。
 - 生活保護受給世帯に暮らしている。
 - 年間を通じて開催される各種プログラムに参加する意志があり、プログラム参加に際し健康上の支障がないこと。
 - 2020年3月21日～24日に開催するオリエンテーション・プログラムへの参加を確約できること。

※最終合格者には、上記に該当することを証明する公的書類を提出いただきます。書類内容を確認の上、上記条件に合致することが認められない場合には、合格を取り消します。また、合格した場合でも、後日、申告内容に虚偽や事実と異なることが認められた場合には、プログラムから除外となる他、既に支給した奨学金の返金を求めることがあります。

最終合格者が提出を求められる書類(応募時点では提出の必要はありません)

1. 保護者が死亡。	戸籍全部事項証明書(戸籍謄本)
2. 単親家庭である(母子家庭、父子家庭など)。	戸籍全部事項証明書(戸籍謄本)
3. 児童養護施設などの児童福祉施設・社会的養護の施設に暮らしている。	施設長の発行する在籍証明書
4. 里親家庭に暮らしている。	里親委託証明書(児童委託証明書)
5. 生活保護受給世帯に暮らしている。	生活保護受給証明書

【応募の流れ】 選考は、以下のスケジュールで行います。

2019年11月22日(金)	応募締切(当日消印有効)
2019年12月2日(月)	一次選考合格者への面接案内送付(合格者及び合格者の推薦状を記入した学校長宛てに通知します。不合格者には通知をいたしません)
2019年12月中旬	二次選考 12月14日(土) 東京会場 12月15日(日) 大阪会場 ※遠方からの受験者には面接会場までの交通費補助を規程に基づき支給します。
2020年1月後半	最終合格者発表(二次選考受験者全員に可否を通知します)

※合格者は、2020年3月21日～24日に開催される3泊4日のオリエンテーション・プログラムへの参加が義務づけられています。いかなる理由があっても、オリエンテーション・プログラムに参加ができない方は、応募できません。

【選考方法】

- 1次選考：書類審査
- 2次選考：面接(遠方からの受験者には交通費補助を規程に基づき支給します。詳細は1次選考合格者に通知します)

【選考会場の振り分け】

会場	対象者
東京会場	北海道・青森・秋田・岩手・宮城・福島・山形・栃木・群馬・茨城・山梨・長野・新潟・埼玉・千葉・東京・神奈川・静岡の各都道府県居住者
大阪会場	岐阜・愛知・三重・富山・石川・福井・滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山・鳥取・島根・岡山・広島・山口・徳島・香川・愛媛・高知・福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄の各都道府県居住者

【応募方法】

下記の書類の全てを、締切までに提出すること。応募書類は返却しません。1次選考の結果についての個別のお問い合わせは理由の如何を問わず受け付けません。

- ① 応募用紙(指定応募用紙に必要事項を記入のこと)
- ② 課題作文(応募用紙の指定の通りに課題作文を作成し同封すること)
- ③ 学校長からの推薦状(学校長により厳封のこと。現在、高校に在籍していない者については、卒業校からの卒業証明書または、高等学校卒業程度認定試験合格証明書を代わりに提出のこと)

【締切】2019年11月22日(金) 当日消印有効

【送付先】応募書類の送付先は、以下の通りです。(切り取って郵送先のラベルとして使用してください)

- ※郵便局留のため、宅急便では受取ができません。必ず郵便でお送りください。
- ※応募期間中のみ開設している受付窓口です。受付期間を過ぎた郵送物は10日後に返送されます。
- ※遅配・不達等の郵便事故の責任は負いかねますのでご了承ください。

キリトリ

〒150-8681 東京都渋谷区渋谷1-12-13
渋谷郵便局留

一般財団法人教育支援グローバル基金
「ジャパン未来スカラシップ・プログラム2020係」 行
(渋谷区神南1-5-7 APPLE OHMI ビル4F ETIC.内)

局留め郵便のため、宅急便での送付はできません。

ビヨントゥモローの学生たち

様々なバックグラウンドを持つ学生たちが日本全国から集い、自分の役割を探し続けています。



“仲間との切磋琢磨を続けるビヨントゥモローは、私にとって「学び舎」であり「マイホーム」だと思う”

新沙耶花 立命館大学政策科学部(大阪学芸高等学校卒業)
幼少期に母と死別、小学生の時から児童養護施設に暮らす。長い間、自分の生い立ちにはハンディキャップがあり、そのせいで自分は夢を叶えることができないのではないかと心のどこかで思っていたが、ビヨントゥモローでの活動を通じて、自分は逆境を乗り越えて夢を叶える力を持っているということ、そしてそれは多くの人の支えがあってこそということに気づいた。自分にとって温かい「マイホーム」であり、また学びのつきない「学び舎」であるビヨントゥモローで、自分が悩んだ経験を活かし、後輩たちが希望に満ちた夢を叶えるためのサポートをしていきたい。



“海外に行ったこともなかった自分が、ビヨントゥモローの活動でアメリカやアジアで経験を積み、更に今年一人でタイに行き現地の孤児院でのインターンシップに参加するなど、想像もしなかった世界への挑戦を続けている”

佐々木琉希 東北学院大学教養学部(岩手県立大船渡高等学校卒業)
東日本大震災で父と祖父母を亡くし、自宅も流失。残された自分にできることは、亡くなった人の分まで精一杯生きることだと考え、震災前から取り組んでいた野球を震災後も継続し、全国大会にも出場を果たした。ビヨントゥモローの活動に参加して、自分の境遇を素直に打ち明けることで、似た経験をしている仲間の孤独に寄り添うことができることを知った。そして様々な活動に参加する中で、自身が体験した自然災害だけでなく、社会には多くの課題が存在することに気づき、将来は、人のために自らが動くことのできる人間になりたいと考えている。



“母子家庭に育ち、経済的な事情で進学や課外活動を諦めなければならないことも多かったが、ビヨントゥモローで様々なバックグラウンドを持つ仲間と出会い、「自分の家庭環境を言い訳にすることなくキラキラ輝ける人になりたい」と決意した”

松藤江巳史 高知大学人文社会科学部(高知市立高知商業高等学校卒業)
母子家庭に育ち、経済的な事情で進学や課外活動を諦めなければならないことも多かったが、ビヨントゥモローで様々なバックグラウンドを持つ仲間と出会い、自分の家庭環境があったからこそ見える景色を大切に、未来に挑戦したいと考えるようになった。「自分の家庭環境を言い訳にすることなくキラキラ輝ける人になりたい」と決意。奨学金を受給しながら国内外での人材育成プログラムに参加したり、東京のベンチャー企業でのインターンシップにも挑戦、大きな変化と成長を感じる大学生活を送っている。



“ビヨントゥモローに初めて参加した時の衝撃は今も覚えている。自分の経験やバックグラウンドについて共有し、それを受け入れてくれる環境がそこにあった。そしてそれ以来、そこはいつも自分の居場所であり続けた”

飯田芽生愛 早稲田大学社会学部(長野県長野西高等学校卒業)
幼少期に母を自殺で亡くし、その後、養父からの虐待に耐える日々が続いた。その後、通報により保護され、児童養護施設に入所。つらい記憶だが、同時に「子どもたちの居場所創り」という夢を与えてくれた体験でもあると思う。高校生活を通してビヨントゥモローの活動に参加し、楽しかった時期だけでなく、行きたくないと思った時期も経験しながら、やはり仲間と過ごす時間が自分の居場所となり、頑張る源になっていたのだと感じている。大学生としてビヨントゥモローに参加し、夏にはアメリカを初めて訪れ、英語でスピーチする役割も果たした。